

第二期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会（第1回）  
議事要録

日時 平成23年10月27日（木）午後7時～午後9時05分

場所 クリーンセンター3F 見学者ホール

出席 小澤紀美子会長、水谷俊博副会長、新垣俊彦委員、金子和雄委員、島森和子委員、高石優委員、飯村雅洋委員、山崎君枝委員、平田昭虎委員、岡田敬一委員、園田治委員、千綿澄子委員、木村文委員、藻谷征子委員、塩澤誠一郎委員、狩野耕一郎委員、越智征夫委員、村井寿夫委員、高橋豊委員、早川峻委員、高橋健一委員、興梠信子委員、渡部敏夫委員

事務局（木村浩担当課長他）

コンサルタント（株式会社日建設計 高津敬俊主管他）

欠席 なし

傍聴 1名

配布資料 1. 次第、2. 配置・平面図、3. 建築デザインワークシート、4. 段階整備計画、5. 立川断層帯について、6. 第1回新クリーンセンター施設・周辺整備協議会資料（村井委員作成）、7. 環境未来都市募集要項（塩澤委員作成）、8. 緑町三丁目町会バス研修（塩澤委員作成）

## 1. 新施設の建築デザインについて

事務局より配置・平面図、建築デザインワークシートについて、副会長より建築デザインの他事例について説明を行った。

続いて村井委員より配置計画に対して、スポーツ施設とクリーンセンターが全体で一つとなるようにつないでいくことの必要性、野球場を観戦するテラスやスポーツ施設とクリーンセンターを結ぶ日常的な動線の整備、スポーツ施設は人の立ち入りを限定するためテニスコートの再配置、クリーンセンター南側及び西側をプロムナードとして整備し、特に市役所とクリーンセンターの間を広く取ることでにぎわいの中心とすることなど提案を行った。

- ・ **委員** 中央通り側の土手は現計画通りとし、エコセンターと市役所の間はなるべく広く確保し、空間的なつながりが欲しい。
- ・ **会長** このあたりはまだ、デザインの余地はあるので、今の意見も考慮していく。エコプラザの方の芝生広場への入り方を現在の配置より、もう少しエコプラザ寄りにしていくとつながりが出てくるのではないかと。敷地西側の顔づくりについては第3期のときに十分に議論することになる。また、野球場の観戦のためのスペースを設けることは可能と考えるが、動線とは分ける形のバルコニーのような場所を設けることが一番容易ではないか。
- ・ **委員** 中央通り側が地下化され非常に満足している。地下3階でこれ以上の地下化が難しい点は明文化してほしい。
- ・ **事務局** 地下化の限度に関する根拠の明文化は考える。可能な限り地下化をした中での断面構成であることは次回御提示したい。

- ・ **委員** 本協議会で検討、決定した建築デザインをどのように要求水準書に反映していくのが確認したい。デザインパースや基本設計図面などを要求水準書に盛り込むということは、事業者がこの通り作りなさいという意味合いなのか、これを参考にある程度事業者の提案の余地もあるという意味合いなのか。また有名な建築家がデザインする可能性も確認したい。
- ・ **会長** 予算との関係で有名な建築家へ依頼するのは難しいと考える。今回のパースや図面は、1つの考え方を示したものであり、最終決定ではないと考えている。コストパフォーマンスがよく、且ついわゆる工場のデザインではないものにしたいと思う。
- ・ **事務局** 清掃工場の場合には、設計と工事は一体で発注するのが一般的である。今回はDBOという、設計、施工、運転管理を含めた一括発注で、設計はその事業者グループが行う。ふじみ衛生組合の要求水準書は、景観に配慮するといった内容の文面と配置図のみを提示し、最終的には技術的なプラントの提案、建築パース、コストを含めたトータルで評価をして決めている。全国の清掃工場も概ね同じである。今回はこれを避けるため、要求水準書には、参考図という形でパースや建築設計図を掲載し、限りなくこれに近い提案を要求したい。ただし、メーカーによって装置の大きさが異なるため、参考図と全く同じ提案とならない可能性もあるが、ほぼこの形でデザインすることを要求する。要求水準の書きぶりは、副会長の協力のもと、事業者選定委員会でもコントロールが可能と考える。建築デザインについてよりよい提案をさせるような書きぶりも研究したい。ただ、東京二十三区清掃一部事務組合の建築家を入れた事例は、非常に特殊で、最近ではあのような手法は難しく、今から建築家を入れるのは難しい。そのために今回、コンサルとして日建設計に入っていたいただいており、皆さんの意見を踏まえてデザインの修正をする中で、議論いただきたい。
- ・ **委員** この建物が建つことによって、この周辺地域全体の価値を高めてくれるものにしたいという期待がある。この施設の価値をさらに高めてくれる提案は事業者に求めるべきで、要求水準書にしっかりと書くべきである。
- ・ **会長** この第2期ではデザイン性が重視されることもあり、施設・周辺協議会、事業者選定委員会の両方に副会長が入っている。この会議は住民の方たちの意見で積み上げていくが、要求水準やデザインについては副会長からも意見をもらう形になる。
- ・ **副会長** 要求水準での書き方と評価基準が重要である。この二つを連動させてデザインに対して制限をかけるような方策があると考えている。事業者選定委員会においても建築サイドからの意見を言っていきたい。
- ・ **委員** 中央通り側の土手は、斜面よりはフラットが良いのではないかと。いろんな方の利用を考えると傾斜を通る道以外の入り口がほしい。セキュリティに関して、ある程度人の気配を感じられるような工夫が必要である。また全面ガラス張りだと不安で落ち着かないため、ある程度安心感のあるデザインとしてほしい。また、配布資料は壁の写真などが見づらいので、歩く人の目線でわかるようなパース資料が必要である。もう一つ関連して、先ほどの塩澤委員の意見を聞き、私たちにとっての高い価値とは何なのかということを考えている。この点はこれから大事に考える必要がある。
- ・ **会長** エコセンターの入り口はこの土手からだけでなく、エレベーターや新管理棟の方にも設けている。次回の資料では出入口を分かりやすく示していただきたい。以前から、ごみの問題は見えにくいようにすることが解決ではない、という議論があり、そこも大事な視点である。ごみの処理について理解を深められるようにすること、デザインで「見える化」するこ

とが非常に大事と考える。今回の東日本大震災で私たちの考え方、行動を変えていかななくてはいけないと、より鮮明になってきたのではないかと。

- ・ **事務局** 東側斜面についてはバリアフリーの観点を考慮する予定である。委員の意見や会長の指摘を元にエレベーターを配置するなどの考えをまとめて提示したい。セキュリティ面では、少し人の気配が感じられるような仕掛けを考えたい。東側の全面ガラス張りは、副会長からゲートのような設えにしてはどうかとの提案もあるため再度検討する。また、今回は模型を提示する予定であるが、少し目線レベルでわかるような資料を作成する。価値を高めるというご意見は、委員の方にも議論いただきたい。まとめの段階で建築コンセプトのようなものが必要かと考えている。
- ・ **会長** 広島市環境局中工場に、広島のごみ廃棄物の処理の歴史が書いてあったが、少し見づらかった。今回、屋内の壁面に皆で議論してきた経緯や、子供が参加する廃棄物の処理に関する学習成果を展示できる場所があってもよい。
- ・ **委員** 市民の意見がよく盛り込まれており、デザインとしても素晴らしいと思った。今回、屋上庭園、空中デッキでつなぐアイデアがあるが、この考え方を発展させ、2階建てのデッキや通路から、イベント広場までを平らにして全面芝生にし、その上にバラ園もあるという形にすれば、見学デッキとつながった形でエコセンターまで行くことが可能になるのではないかと。また、パッカー車の動線は、中央通りから地下に入る方法は考えられないか。また東側の斜面も、高い2階の位置まで上がっていく通路になっているが、ここはデッキでエスカレーターやエレベーターで入って来られる場所になっていれば、庭園や広場としてスペースが確保できると考える。藤棚は、敷地西側のエコプラザの脇のスペースに移して生かす方法があるかと考える。この次に炉や発電機等を更新する際に、地下3階から簡単に交換できるよう検討しているのか。
- ・ **事務局** イベント広場と屋上庭園にはレベル差があり、一体化は少し難しいが、イベント広場から駐車場が見えないような工夫はしたい。中央通りからパッカー車が出入りすることは渋滞を招く可能性があり、現状のルートが一番いいのではないかと考えている。
- ・ **委員** パッカー車は今、毎朝何台ぐらい待機しているのか。
- ・ **事務局** 民間事業者が吉祥寺から持ち込む収集車としては5台から10台程度が待機している。渋滞回避が重要な要素であり、中央通りから入場させるのは難しいとは思っているが、今日の意見を踏まえて再度整理をしていきたい。東側斜面の人の出入りについてはできる限りバリアフリーを考えていきたい。藤棚は、整備期間中の7年間の仮置き場所が必要となり措置に困っている。どこか現状の敷地の端で確保することも考えられるが、老木であるため移植作業が難しいと聞いている。かなりの大木であり、場合によっては移植の際にトレーラーが必要な可能性もある。再度樹木医などに確認し、移植について検討したい。炉のメンテナンス性については、重要な要素であり、事業者メンテナンスができるような提案をさせていき、その中でできる限り長寿命化を図れるような施設づくりを考えていきたい。
- ・ **委員** 今の市役所の横にある2階建ての駐車場だが、この駐車場もクリーンセンターの駐車場の1つと考えられれば、敷地内の駐車場を取り払うことが可能となり、エコプラザや市役所や市民公園などがすべてつながった形でイベント広場が確保できるのではないかと。駐車場をできるだけイベント広場の方に持ってこない方法を考えていただきたい。
- ・ **事務局** 原則、建築基準法では敷地ごとに駐車場を確保しなければならず、隔地駐車という

形は認められ難い。今日は意見をいただき、次回までに整理をしたい。

- **会長** 今の意見については、将来的にエコプラザの方を考えていくときに、市役所自体の敷地計画も含めた一体的なデザインを考えていくなどの方法もある。
- **委員** 直線的なデザインが主体なので、遊歩道だけでも少しカーブをつけたり、カーテンウォールに曲線を用いたり、柔らかい線が建物かどこかに出てくるとよい。
- **委員** 私たちの大まかな要望が、ある程度デザインされ形になり、とてもよいと考えている。順路となる回廊は、全部ではなくてもガラス張りにすればよい。エコプラザの入り口はよりデザイン的な工夫や遊び的な工夫があると、親しみがわくと思われる。エコセンターの場合は、好奇心を掻き立てられるような動線が考えられたらよいと思われる。プラントの内部が見えると、その工場何をやっているか非常によくわかるため、プラントの中身が見える部分もあるとよい。建物の内部や壁などにどこかに木のぬくもりがあると、温かい感じになるのではないか。
- **会長** 次回は模型で全体の高さ、ボリュームを見て改めて意見をいただきたい。
- **委員** 模型の方が絵よりもわかりやすいので、是非、模型をお願いしたい。
- **委員** 敷地北側の野球場とクリーンセンターとの境目は取り払うのか。ガラスについてだが、メンテナンスを考慮し、雨で汚れが落ちるといような材料の採用を考えられるのか。もう一つは、壁面緑化や屋上緑化が今回あまり表に出てきてないが、緑化についての考えを知りたい。あと発電関係では、ごみ発電、太陽光発電は採用することだが、その他自然エネルギーの導入に関して方針がほしい。また、将来的にパッカー車も電気自動車になるとすると、クリーンセンターで充電する設備もよいと思う。また、自由に行き来できる回廊は、人を配置しない場合、自動的にカウントするような設備も必要ではないか。もう一つは、プラントホームを上回廊から見られるガラス張りでは、下からの覗き防止対策も知りたい。
- **会長** 時間がないので、今日ご意見を伺っておいて、次回回答するという形にしたい。先ほどの発電の話だが、来場者が歩行する際に発電する仕組みなどもよいのではないか。
- **委員** 外壁のガラスカーテンウォールは安全上よくないが、回廊、廊下の方は見学者用にはよいと思う。外壁の素材感はガラスからは少し離れた案を検討してほしい。
- **委員** 敷地北側の駐車場は、野球場使用者のために最低限のものは必要である。一体となった施設として考えていきたいため、運動施設の方の計画の進み具合や整備の考え方、取組みを今後明らかにしてほしい。
- **会長** このことの方針は皆さんで決めていくことだと考えている。きちんと審議をしてデザインも決定していくというのが、基本だと考えている。
- **委員** デザインを考えるときには、親しみを持てるデザインの建物かどうかという点が一番大きい要素である。また、外から見た人がこの建物を見てこのあたりに住んでみたいと考えるようなデザインも、価値を高めることになると思う。曲線のあるデザインやぬくもりのある素材は親しみを感ずる要素になる。また東側に窓がほしいという意見は、今のカーテンウォールのイメージではなく、壁に窓があり、窓越しに人の営みが伺えるような雰囲気を期待していたように思う。例えば、軒があって日差しを避けることができ、腰かけて休むこともできるような親しめる場所などが大事になってくると思う。今日の意見を踏まえて、外壁の違いだけでなく、形態の違いも含めたA、B、C案を次回出してもらいたい。

続いて塩澤委員より「環境未来都市募集要領」、「緑町三丁目町会バス研修」について説明があった。

- ・ **委員** 環境未来都市のコンセプトでは、環境・社会・経済という3つの側面を掲げているが、環境と社会と経済という3つのカテゴリーは、我々の協議会が昨年度まで議論してきたことに合致する。来年度からも募集するようなので、我々の議論をベースに、武蔵野市も挑戦してほしい。もう一枚、A4版一枚の資料は、今年の7月9日に緑町三丁目町会のバス研修の紹介である。この会社では、回収物を一旦ネットオークションなどで引き取ってもらい、それでも残ったものを資源化し、その資源を提携するアーティストなどが新たに再製品化するという取り組みをしている。この取り組みはまだ試験的なものだが、エコプラザの議論の参考になると思い、報告した。
- ・ **会長** 委員の意見については次回までに検討し、この内閣府の環境未来都市の件はぜひ挑戦していただきたいということと、エコプラザのプログラムについては、武蔵野市の学生さんにも参加していただきながらやっていくということも可能かと思う。
- ・ **事務局** 時間が押しているので、議題2は次回とする。
- ・ **会長** 今回はモデルを確認し、曲線なども取り入れたデザインについてイメージを膨らませていただきたい。そして、今日いただいた意見を整理し、討議をしていく。個人的には、先ほどの副会長のスライド5と6の壁のデザイン（ケ・ブランリ美術館のスライド：原色系を用いた色彩豊かな壁面）がいいと思って見ていた。グラデーションに色が変わって、それがあのガラス張りの廊下に日の光で映るのがよいのではないかと思った。今回は野球場に面した北側の方がまだイメージができないので、イメージを膨らませて次回意見をいただきたい。
- ・ **委員** 緑懇話会では、緑町コミュニティセンターもリニューールしていきたいと、話し合いをある程度進め始めている。一般の方々の意見も広く聞きたく、アンケート調査を10月から始めている。結果は資料としてお出しし、皆さんの意見をいただきたい。
- ・ **事務局** 立川断層に関する資料は次回説明する。今日頂いた意見を踏まえて次回の資料を作成する。

会長より閉会挨拶。

以上